平成25～29年度 北区の地域福祉活動［第３期北区地域福祉活動計画］

区民一人ひとりが主人公となって、参加と交流で進める福祉のまちづくり

基本計画１ 学区社協活動の強化

実施計画①

1. 各学区の状況に対応した、身近な地域での絆づくりの推進
2. 次期地域福祉活動計画に向けた各学区社協の重点目標づくり

基本計画２ 区社協活動の強化

実施計画②

1. 地域のさまざまな生活課題を解決するためのコミュニティソーシャルワーク『力』の整備・強化
2. 社協が行うセーフティネット（生活支援機能）の取組の強化
3. 多様なボランティア・市民活動との連携の強化
4. 大学・企業等との連携
5. 福祉への理解を進めるための、学習の機会や体験の場の充実
6. 災害に強い福祉のまちづくりの推進

絆づくり

地域ぐるみで喫茶型サロンを運営しています！

鷹峯社協

北区においても、身近な地域で誰もが気軽に立ち寄ることのできる「居場所」が広がっています。鷹峯社協では、学区内の施設や地域団体と連携し、『たかがみね絆サロン』をオープンしました。

明るい雰囲気の中、会話がはずみます

『たかがみね絆サロン』は、鷹峯社協が中心となって、月1回（毎月19日）運営されています。

このサロンは、地域の課題を地域全体で考えていくことを目的に、各種団体が当番で運営されています。

鷹峯社協の最上勲会長は、「口コミで来てくださる人が増えています。楽しく会話されているようすをみると、活動する側も元気になります」と、手ごたえを感じておられます。

また、会場を提供されている介護老人保健施設「がくさい」では、「地域に施設を活用していただけることは、施設にとっても意義深いことです」と、施設が地域の一員として頼りにされていることを実感されています。

最上会長は、「住民同士、顔の見えるつながりができるよう、地域ぐるみで取組を続けていきたいです」と、今後の意気込みを話されていました。

会場の「がくさい」と
鷹峯社協の最上会長

担い手育成

地域の中で「ともに生きる力」を育む福祉教育

上賀茂社協

北区社協では、地域ぐるみで進める福祉教育を推進・支援しています。小学校で進められる福祉教育については、学校と、地域の人材や社会資源とのつなぎ役を担っています。そして地域との連携により、子どもの学びや育ちを支えるプログラムを展開しています。今回は、「福祉教育」を重点項目において取り組んでおられる上賀茂社協の久保田真由美さんにお話しをうかがいました。

上賀茂社協では、小学校の先生と、地域で直面する課題をすり合わせ、授業づくりを進めています。地域の希薄化、少子高齢化が進む中で、ともに支えあいながら生きることが、将来を担う子ども達にとって重要であると、福祉活動を進めていく中で強く感じたことがきっかけです。

授業では、学習だけに留まらず、そこから考え、実際の行動に繋げられるよう工夫しています。また、保護者や地域に繋げるために、参観日を利用して授業を公開したり、社協広報誌で周知したり、報告冊子の作成等も行っています。

写真は「ともに生きる」をテーマに、障害のある方を招いて行った授業の様子です。こうした取組を積み重ね、子どもも大人も主体的に参画しながら、福祉のまちづくりの輪を広げていきたいと思います。

防災啓発ツールで学ぶ！

東日本大震災以降、この大災害から何を教訓として学び、後世に伝えていくのかということが、私達に与えられた大きな課題だと感じています。

過去に被災した地域で、“教訓”を後世にしっかりと伝えていたところでは、多くの人命が救われたことを学びました。そこで、上賀茂社協では、地元地域で保管されていた『昭和10年京都大水害』の記録を読み解き“複刻版”資料集を書き起こし、それをもとに「防災紙芝居」を作成しました。

この写真は、学校の授業で子どもたちが、その紙芝居を教材に、災害とは何か、災害に対してどう備えていけばいいのかを学習するようすです。

今後も、学校、地域のみならず、さまざまな機会を創設し、防災啓発を図るツールとして、資料集や「防災紙芝居」を活用していきたいと考えています。

問い合わせは

社会福祉法人 京都市北区社会福祉協議会
〒603-8143　京都市北区小山上総町3
TEL.(075)441-1900　FAX.(075)441-8941
http://www.kitaku-syakyo-kyoto.jp/　E-mail：info@kitaku-syakyo-kyoto.jp
京都市北区社協　検索